

第 1 回教育振興基本計画検討委員会 会議概要

件 名	第 1 回鹿児島市教育振興基本計画検討委員会	作成課	教育委員会事務局 管理部 総務課
日 時	令和 8 年 7 月 2 4 日（金） 1 0 時 0 0 分～ 1 1 時 3 0 分		
場 所	教育総合センター 2 階 女性第 1 ・ 2 研修室		
出 席 者	鹿児島市教育振興基本計画検討委員会委員 1 1 人（ 1 2 人中 1 1 人出席）		
市出席者	管理部長、教育部長、学校整備推進担当部長、教育委員会事務局各課長 ほか		
会 次 第	1 開会 2 委嘱状交付、委員紹介 3 会長及び副会長選出 4 第二次鹿児島市教育振興基本計画（素案）について 5 閉会		
見 等	【主な意見等】（○：委員 ●：事務局） <第二次鹿児島市教育振興基本計画（案）について> （掲載データの年度） ○ 令和 7 年度までで統一するのか、令和 8 年度の最新値を反映するのか確認が必要。 ● 基本は令和 7 年度数値で整理しつつ、作成時期や総合計画、学習指導要領改定の動向に応じて必要な更新を検討する。 （情報モラル教育） ○ 方向性に情報モラル教育があるが、主な取組では見えにくい。教育 D X との関連も示してはどうか。 ● 道徳教育、人権教育又は教育 D X の項目で、情報モラル教育の取組や関連の示し方を検討する。 （特別支援教育に係る教職員研修） ○ 教職員全体の専門性向上について、研修内容をより具体的に記載した方が分かりやすい。 ● オンライン研修、特別支援教育セミナー、通常学級担任等を含む研修の具体を記載できるか検討する。 （総合的な探究の時間の表記） ○ 総合的な探究の時間などの表記については、次期改定を先取りしているように見える。使う場合は注釈が必要ではないか。 ● 次期学習指導要領の動向を踏まえ、表記の妥当性、注釈の必要性、正式文言との整合を確認する。 （教育 D X とリアルな学び） ○ 教育 D X を推進するからこそ、対面での対話、自分の言葉で語ること、手書き等の重要性も補完してはどうか。 ● 教育 D X とリアルな学びのバランスを、計画本文又は今後の改定でどのように表現するか検討する。 （消費者教育・金融リテラシー） ○ SNS 等による被害、詐欺被害の増加を踏まえ、金融リテラシーやリスク管理の視点を入れてはどうか。 ● 消費者教育の中で、金融リテラシーやリスク管理の視点を反映できるか検討する。		